

リニア新幹線ルート、立坑位置公表 ～

説明会、意見募集で市民の声を上げましょう！

大深度トンネル、中間駅、車両基地、立坑工事・・・13年間にわたり、神奈川県内で発生する土砂の量は1400万トン、ダンプカー320万台トンネル工事は24時間の予定、これで地上への影響が無いとは！？



JR東海はこの2年間、川崎市内でも計画書（方法書）で示された3キロ幅の想定ルート内を中心に環境影響調査を行い、9月18日、調査結果と正式ルート、立坑（非常口）5箇所の位置を公表しました。麻生区内の正式ルートと2ヶ所の立坑位置は上の図で示した通りです。ともに2年前、私たち沿線住民が想定した位置とぴったり一致しています。すでに位置が特定されながら、市民には公表せず、2年間隠してきたと考えます。

麻生区内2か所の工事ヤードは5千から1万㎡、緑地や閑静な住宅街、大学や多くの学校に隣接しています。

昼間は工事車両の出入り、さらに24時間のトンネル工事、そして工事ヤード内の泥水処理施設の稼働、こうした長期間の工事の影響が「無い」とは到底信じられません。

リニアはやはい不要！計画の凍結・再検証が必要です。

私たち、沿線住民は、中央新幹線環境影響評価準備書を縦覧し以下のような問題（ほんの一部）が解明されていないと判断しました。詳しくは、リニア東京神奈川連絡会のホームページ（<http://web-asao.jp/hp/linear>）を参照してください。そして、説明会の場で、また意見募集の際に参考にさせていただければと考えています。皆さんの意見は今後、県や市の環境影響審議会の審議で重要な意味を持ちます。また知事意見や市長意見にも反映されるので、ぜひ声を上げましょう。

＜意見書提出の方法＞ 期間：9月20日～11月5日まで

●環境影響評価準備書（神奈川県）提出先 以下2つの方法があります

①インターネット：

JR東海ホームページの専用入力フォーム <https://jr-central.co.jp/public/opinion/input>

②郵送：〒108-8799 高輪郵便局留 JR東海 中央新幹線環境影響評価準備書 ご意見受付係

●法対象条例環境影響評価準備書（川崎市）提出先 郵送のみ

宛先：〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市環境局環境評価室

◎郵送の場合は、住所・氏名・電話番号（川崎市の場合）等記載のこと。意見書の様式は自由

＜リニア新幹線計画準備書で解明されない問題点＞

工事ヤード、立坑工事に関して

- 川崎市内5カ所の立坑場所として、緑地や住宅街付近を選定した理由は。
- 工事ヤードにはどのような施設がつくられ、どのような建設機械が稼働するのか。
- 工事ヤードに出入りする車両はどの場所から道路に出るのか。
- 川崎市内で工事ヤードに出入りする車両（ダンプカー）の台数は。
- 立坑の規模（直径、深さ、地上部の高さ）が明らかでない。
- 立坑には管理棟なども経つと言うが、その大きさと高さは。

トンネル工事に関して

- 川崎市内のトンネル工事は「シールド工法」というが、具体的な説明がない。
- トンネル工事は24時間行うと言うが本当か。その際、工事ヤードも稼働するのか。
- 川崎市内の大深度地下はどのような地層や岩盤になっているのか。
- 地下水への影響は無いと言うが、山梨リニア実験線の延伸工事では水枯れがあった。
- 川崎市内の工事で掘り出される残土（建設発生土）の量は。
- 工事で出た残土の処理や運搬方法、使い道について具体的に明らかにしていない。

大深度法

- 首都圏の地下40m以深なら住民への補償を必要とせず使用できるという「大深度法」が適用されると言うが、騒音・振動・電磁波などの影響があった場合、その対策が不明。

動植物の生態系に関して

- 工事によって影響を受ける動植物について、「(新たな)環境の創出」「移植」をするとあるが、結局、環境破壊には変わりはない。もし、それが上手くいかなかったら取り返しがつかない。
- 地下水など水環境と動植物の生育環境のつながりを調べていないのはなぜか。

リニア問題に詳しい方々を招いて、準備書の問題点を明らかにし意見交換する場を設けました。是非ご参加いただき一緒にリニア問題を考えましょう。

リニアここが問題！—環境影響評価準備書の問題点—

と き： 10月18日（金）18：00～20：30

と ころ： 麻生市民館大会議室（小田急新百合ヶ丘駅徒歩5分）

講 演： 辻村千尋さん（自然保護協会），

天野捷一（リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会共同代表）

資料代 300 円
いただきます。

立ち止まって考えよう！リニア新幹線

と き： 11月9日（土）18：00～20：30

と ころ： 麻生市民館大会議室（小田急新百合ヶ丘駅徒歩5分）

講 演： 橋山禮治郎さん（千葉商科大学大学院客員教授）

樫田秀樹さん（ジャーナリスト）

連絡先：リニア麻生・多摩の会 矢沢美也 090-6108-6568